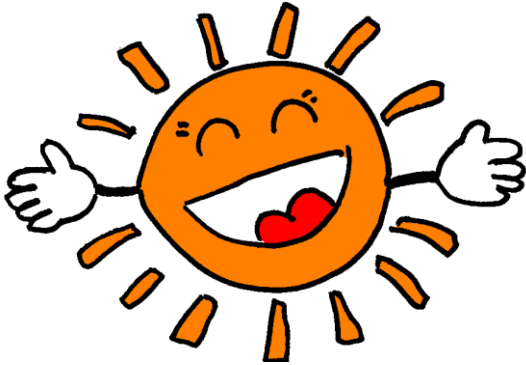


サンホーム便り



写真：荒木 忠吉 《山梨県》

サンホームも新年度を迎えました。職員の異動・退職があり、新しい職員を迎えての新年度スタートです。今回のサンホーム便りは職員の挨拶から始めさせていただきます。

「新年度に向けて」

園長 東 俊郎

日頃よりサンホームの事業に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、法人内の異動により園長として着任致しました東俊郎と申します。

今後利用者の方々、御家族、地域の方々の御協力を仰ぎながら利用なさる方々の安心、安全を第一義としながら、利用者満足に向けて職員一同力をあわせ、環境を整えてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災の復興は遅々として進まず、国の財政状況等も平成二十四年度予算を見

ますと税込だけではたりず、国債にたよる事となっております。こうした状況を考えますと、福祉予算も厳しくならざるをえず堅実な財政基盤に立脚した制度となるよう願わずにはられません。

サンホームの窓から春の日差しが差し込むようになってまいりました。桜の花に希望を感じながら頑張ってまいりたいと考えております。

サンホームの目標であります、潤いのある生活を楽しむために、持てる力を支援して行くと言う考えに沿ってサークルや行事を考えて行くと共にボランティアとして地域に参画なさる方に対しても出来るだけ協力して行くつもりであります。今年は辰年でもありますので、龍が天をおおらかに駆け巡るように明るく楽しい一年にしたいものです。



職員の挨拶

「退職・異動になった職員の挨拶です」

「サンホームを振り返って」

事務員 築瀬 光子

桜の花が咲き始めるこの時期、三十年余り勤務したサンホームを退職することになりました。長い時間でもあり、又、あっという間の時間だった様な気がします。

皆様には大変お世話になり深く感謝いたします。古いサンホームをご存知の方も少なくなり、ちよっと振り返ってみますね。

今では想像もつかないと思いますが、木造平屋の長屋のような造りの中、百名の利用者の方が生活されておりました。トイレ、洗面所は共用で、しかも雨が降ると利用者から「雨漏りですよ」のコールで寮母さんたちはバケツやタオルを持って走っていく状態でした。そんな古い建物でも、今頃からの季節が大好きでした。各お部屋に一坪程の庭が有り、梅、桃、チューリップ、水仙、その他百花繚乱お花畑の様に、とても華やかにサンホームを演出しておりました。私の仕事も小平市委託の給食サービスに携わる事になり、一人暮らしの現状を目の当たりに

しました。「一日誰もおしゃべりしないのでお弁当が楽しみ」と言うおばあちゃん、一人暮らしで起き上がれない人、前日に部屋で転び、給食までそのまま倒れていた方、一日おきのお弁当配食でしたが、それでも四十人近くの方が必要としていたことで、頑張って仕事に励めたと思います。

介護保険制度が確立してからは、お弁当を利用する人がどんどん少なくなっております。サンホームの利用者の皆様とは、行事、バザー、ドライブなどの付添いで、色々なことにお供わせていただき、写真を取る時、その時の楽しみやおしゃべりが目に見えがびます。

サンホームの皆様もお元気で、一日でも長くここで自立した生活を送られるようお過ごしください。

長い間本当にありがとうございました。



「サンホームで仕事をして」

調理員 真藤 肇

平成二十四年度から人事異動でサンホームを去ることになりました。

サンホームには約十年間勤めてきましたが、十年という歳月は、あっという間に過ぎていきました。ただ、とても密度の濃い十年間だったと思います。

十年間の思い出を一つ一つ上げるときりがないので、止めておきます(笑)。

私にとって、サンホームで仕事ができた十年間は、とても幸せで有意義な時間でした。

利用者の皆様、ご家族の皆様、職員の皆様、このような有意義な時間を過ごせたのは、皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

次の施設でも、自分の持っている力を活かして頑張りたいと思います。

皆様の「ご健康を心より願っています」。



「介護」

介護職員 宮原 紀子

四月に入り、辺りは様々な花が咲き出しました。思えば昨年ほどにお会いしなかったから一年八ヶ月あついでのご挨拶です。

日々忙しい毎日、皆様にご十分な心配りが出来たのかと反省しています。至らない私を励まし、温かく見守って下さり、心から感謝しております。ぜひお身体に気を付けて元氣にお過ごし下さい。

又職員の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございます。皆様とお別れするのは淋しいですが、私も新しい職場でこれから頑張っていく予定です。

職員の挨拶

～復職・新任職員の挨拶です～

「復職にあたって」

介護職員 中元 好美

四月から介護職員として復帰した中元です。お久しぶりな男を産んで、一年七ヶ月間育児休業をいただきました。初日の出勤は緊張していましたが、「待っていたわよ。」「また元気かいね。」「

と声をかけてくださり、いつもうれしかったです。サンホームの雰囲気、利用者さんとの会話どれも懐かし、非常に居心地のよい空間だったことを思い出しました。

サンホームには平成十八年から勤めており、今年で七年目になります。二十代で就職した私も三十代になり、サンホームにいた間に結婚出産で大きな経験をたくさんしました。社会人になった時の気持ちを忘れず、また介護職員として経験を積みながら、みなさまのお役にたてるように努力していきたいと思えます。利用者さんにサンホームに来てよかったと思っていただけるよう、安心してそして楽しく暮らせるサンホームを目指して他の職員と協力していきますので、よろしくお願いします。

「ちゅるまっく」

介護職員 折笠 紘女

東京都の介護雇用プログラムで来年の三月末まで介護職員としてお世話になります、折笠です。また右も左も分からぬ中、朝の少しのお時間や業務中の合間に声を掛けて下さり、サンホームの皆さんが気さくに話し掛けて下さるのがとても嬉しいです。いつもありがとうございます。また、歩みの会やお花見などの機会があればぜひ、三時のお茶などお話を聞かせて頂きたいです。いつも勉強になります。よろしくお願いします。

いろいろな話を聞いて下さるのを楽しんでいます。興味深いお話ばかりです。来たばかりで覚える事が多い怒涛の毎日ですが、一日でも早く一人前になれるように頑張ります。

また落着きも足りず粗相も多いとは思いますが、「指導」させていただきます。よろしくお願いします。

「介護」

調理員 佐藤 元樹

今年の四月から隣のやまま園から参りました。佐藤元樹と申します。初めは仕事を覚える事に必死で利用者さんのお顔と名前が一致せずにご迷惑しました。

まだまだ未熟者ですが、日々勉強して美味しい料理を提供していきたいと思っております。

「挨拶」

調理員 俣野 順

本年、4月より調理新入社員として働くことになりました俣野順と申します。仕事を覚える事が最優先事項で入所者様の顔と名前を覚えるまでには至っておりません。少しずつ顔と名前が一致するように頑張ります。よろしくお願いします。

新しく入居された利用者様のご挨拶です。

「震災から一年が過ぎて」

棚橋 美智子

福島県相馬港近くの高戸に住んでいて助かりました。

今、私はサンホームにお世話になり二ヶ月ちよつと、本当に安住の地と思って感謝しております。

3・11の後、転々となりましたがやっと心の安らぎが取り戻せたようです。

職員の方々も入居してらっしゃる方々、穏やかにホットしております。

趣味は、カフオケとウォーキングです。

どこどこからもよろしくお願ひ致します。健康に気を付け元気「1日でも長く此処で暮らしたい」と願っております。



「ご挨拶」

松村 懋



独身生活二十余年、一人暮らしの気儘な自由人と自他ともに認めた生活をして来ました。そんな折、知人の紹介でこのサンホームの事を知り見学させていただきました。

生天目さんの丁寧で熱心な館内案内や、職員の方々、入居されている皆様の様子を拝見して、老人ホームと云つ一般的なし暗いイメージは全くなくて、逆にここで皆様と一緒に、太極拳も続けられたらと思ひ入所を決心しました。

入居以来二ヶ月、外出が多く職員の皆様にはいつも御迷惑、御心配を未だにお掛けて居ます。又、入所の皆様には、なれない館内生活を色々御指導や、アドバイザー等御親切にして頂き、感謝しています。「この場をお借りして御礼申し上げます」。

これから楽しんで、明るく皆様と共に、第三の人生を過ごしたいと思っておりますので宜敷くお願ひ致します。



初詣 ～大国魂神社にて～



行事報告

「初詣」

介護職員 伊藤 華恵

一月四日、今年も大國魂神社に初詣に行つてまいりました。
今年もサンホームの利用者さん・職員共に元気に素敵な一年が過ごせますようにとお願ひをしております。

大國魂神社は人出も多く、参道には様々なお店が出ており一時間程と短い自由時間には、甘酒を飲んだり、たい焼きを吞し上がったりと、色々なお店に行かれて買い物やされ、初詣の雰囲気を感じることが出来たことかと思ひます。

今の屋台には、「富士宮焼きそば」など今時のB級グルメを販売しており、驚いたのは私だけでしょいか？

「餃子作り」

栄養士 大塚 千尋

今回は、昼食で食べる『水餃子』を利用者様に協力していただき、作成しました。
衛生上、手袋・マスクを着用し行ったため、

こし、作りにくい所もあったと思いますが、主婦の方はコツをすくつかんだのか、見事な手さばきで作っていました。

初めての方も丁寧な作っていただきました。今回も作成時間を一時間くらい予定していましたが、半分の三十分程度で終わってしまいました。

皆様と一緒に作った手作りの餃子は、とても美味しかったです。おかわりも大盛況。普段、食の細かい方も、おかわりをしてくださいました。今後とも、皆様と一緒に、たくさんのごよをして、楽しんでいただけたらと思います。



餃子作りの様子



新年会の様子



「新年会」

介護職員 上野 浩志

平成二十四年一月十八日のお昼に新年会を行いました。今回はなんと、東村山の「あら井鮎」さんをお呼びしました。十二時 新年の挨拶を皆様と行い、新年の始まりを祝い乾杯。

目前でお寿司を握って頂きながら、食事を楽しく事ができました。おかわりのお寿司も、アツという間に、なくなってしまうましたが、大変に盛り上がった新年会となりました。なによりも、握るパフォーマンスが見られて、大変に喜ばれていたのが、印象的でした。

この一年を、皆様が穏やかに、過ごせますように祈りつつ、満足の新年会となりました。



「新春カラオケ大会」

生活相談員 生天目 尊

寒さも厳しい二月二十七日、毎年恒例の新春カラオケ大会を予定しておりましたが、他施設ではインフルエンザに罹った利用者さまが多く残念ながら今回でのカラオケ大会は中止となりました。

この日を楽しみにしていた利用者さまには申し訳なかったのですが、致し方ない状況でした。幸いサンホームはインフルエンザの流行はなく皆様お元気でしたので、「歌おつ会」と称し、ホーム内で歌自慢を披露して頂きました。気心の知れた仲間ばかりなので、カラオケはあがる事も少なく、実力の美声を遺憾なく発揮

されておりました。

普段は聴き役、音響担当の職員も共にカラオケを致しましたが、恥ずかしさもあり、緊張して実力を発揮できませんでした・・・元から利用者さまには到底かなうわけもなく・・・そんな職員にも暖かな拍手とお声掛けをして頂き、いつしか緊張感もほぐれ、寒い外とは裏腹に会場は熱く盛り上がりました。職員も全員マイクを持って和気あいあいと歌おつ会を終える事が出来ました。

用意していたトロフィーは来年に持ち越しとなりましたが、何よりの健康で歌え、サンホームの和を感じた一日でした。

来年は他施設の利用者さまもご健康でお元気に来園して頂けるように、再会を楽しみにお待ちしております。



「節分」

介護職員 野口 義治

二月三日(金)午前九時より着付け開始、時には記念撮影を行い、十時十五分いよいよ豆撒き開始です。

「鬼は外、福は内！」の掛け声も徐々に大きくなっていき利用者皆様と楽しい時を過ごすことが出来ました。今年はノロウイルスが流行していた関係で、床に捲いた豆は職員が回収するというおまけも今は良き思い出です。

「お楽しみ食事会」

栄養士 大塚 千尋

今年も二月にお楽しみ食事会を実施しました。今回の食事テーマは『お鍋リベンジ』でした。忘年会の経験を生かし、お食事会では、同じ失敗は繰り返さないという思いからテーマをぞうざせていただきました。

個人的な意見ですが、テーマであるリベンジは、無事成功できたと思っております。

メニューは調理員と話し合い決めさせていただきました。利用皆様から『おいしい』『この言葉がたくさんいただきました。その言葉が、私たちにとって何よりの『ほめ言葉』でもあり、

『ご褒美』にも感じました。
皆様から申される『ご褒美』をいただきたく、
今後も頑張っていきたいと思えます。



お楽しみドライブ
～神代植物園にて～

「お楽しみドライブ」

介護職員 上野 浩志

平成二十四年三月二十一日に、利用者さん十三名、職員四名で神代植物公園へ、ドライブに出かけました。天気もよくドライブ日和となりました。神代植物公園では、薔薇の写真展、大温室での、花の散歩道で、熱帯スイレン等を鑑賞して記念撮影をしました。お昼は、深大寺で蕎麦を堪能し、境内を散歩しながらの買物を

しました。思い思いの品物を、ゲットして帰路につきました。場所も、遠くなく近くもなく、疲れない距離で、良かったこの意見がありました。次回はどこに行きましょうか？お楽しみにしておいて下さい。

防災訓練（心援協定避難訓練）を終えて

介護職員 野口 義治

地域の心援協定に基づく避難訓練が二月十二日午前時十時四十五分より行われました。心援にきた他施設の職員さんや消防署員の方も見守る中で、緊張感が高まる中にも拘らず、サンホームの利用者さんは普段以上に落ち着いて且つ迅速な行動をとられていました。防災委員として、日頃の訓練の成果と共にその大切さを改めて認識した次第です。

合同防災訓練の様子
～心援協定避難訓練～



利用者様からの寄稿です

「サンホーム」に入居して！

前田 永子

入居して四年が過ぎました。早いものですね。その間何を思い、何を考え暮らしてきたかーあつという間の四年間でした。
でも、その間を思い返してみますと、何の淋しさも悲しみもなく、ただ、ただ楽しく過ごした幸せの日であったことを皆様に感謝したい気持ちでいっぱい입니다。
毎日おいしいお食事をいただき、色々のサークルへ参加させていただいて楽しい日々の連続であったと思います。
そして入居した頃に比べて心も豊かになったような気持ちが出てきています。
くつろぎながらも学べるようにはなりましたが、まだまだ、楽しみもあるという事を実感しているの頃です。
どうぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
健康と幸せを心に抱いて！



職員からの寄稿です

「春」

事務職員 高野 睦子

大正十四年十一月十日生まれ、丑年の私のおばあちゃん。去年の十一月に岩手県の特別養護老人ホームに入居しました。

祖母は四十二歳の時に初孫の私が生まれて、若い若いケサミおばあちゃん私の自慢でした。母を若く産んで、母も若くして私を産んでくれました。看護師の母は毎日忙しく、私や弟たちの教育、しつけ、礼儀まではケサミおばあちゃん仕込みでした。

父や母の働く姿を見ながら私は育ち、たくさんのお愛を祖母と両親からもらいました。感謝の気持ちですと持って生きていこうとしたのはケサミおばあちゃん譲りです。このサンホーム便りを通じて楽しみにしていこうおばあちゃん。

「こんなに素敵な施設があるんだよー」「こんなに素敵なところにはいるんだー」と自分の居る特養の介護職員と互方に自慢しているんです。

私は熱くなんな思っているの話を耳にしました。楽しんでくつくるサンホーム便りの春。

祖母の手元に届く頃は、岩手県も桜が満開か
ついで。。。

春：サンホームの利用者の皆様には素敵な時間が流れている事と思います。皆様と一緒に新しい季節を迎えられた事に感謝しております。

今後の行事予定

【五月】

五月五日 端午の節句・菖蒲湯

五月十六日 お楽しみドライブ

【六月】

六月四・五日 一泊旅行

六月二十六日 お楽しみ食事会

【七月】

七月十三日 盆行事

七月二十七日 合同納涼会

【八月】

八月十一日 サマーコンサート

公開講座の予定

五月十八日(金) 「笑い3方」

講師 松村 修氏

六月十五日(金) 「写真くじくじ」

講師 岩下 彪氏

発行 平成24年4月29日
社会福祉法人恩賜財団東京都同窓愛護会
サンホーム
東京都東村山市富士見町2-7-40
TEL 042-391-3274
FAX 042-391-3366
E-mail sunhome-sodan@douen.jp

サンホームだよりに掲載されている文章・個人名、
写真等は個人情報保護の観点から全て御本人又は
保証人様の承諾を得て掲載しております。

